

交付運用報告書

損保ジャパン T C W外国株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2024年7月17日～2025年7月15日

第27期 決算日：2025年7月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

各ファンドは、日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、各ベンチマーク（Aコース：MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）・Bコース：MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））を中長期的に上回る運用成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

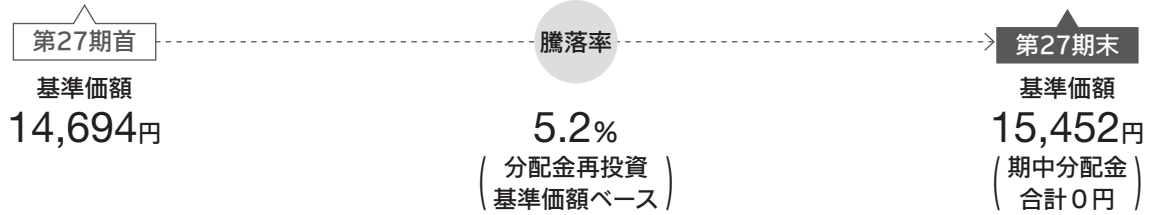
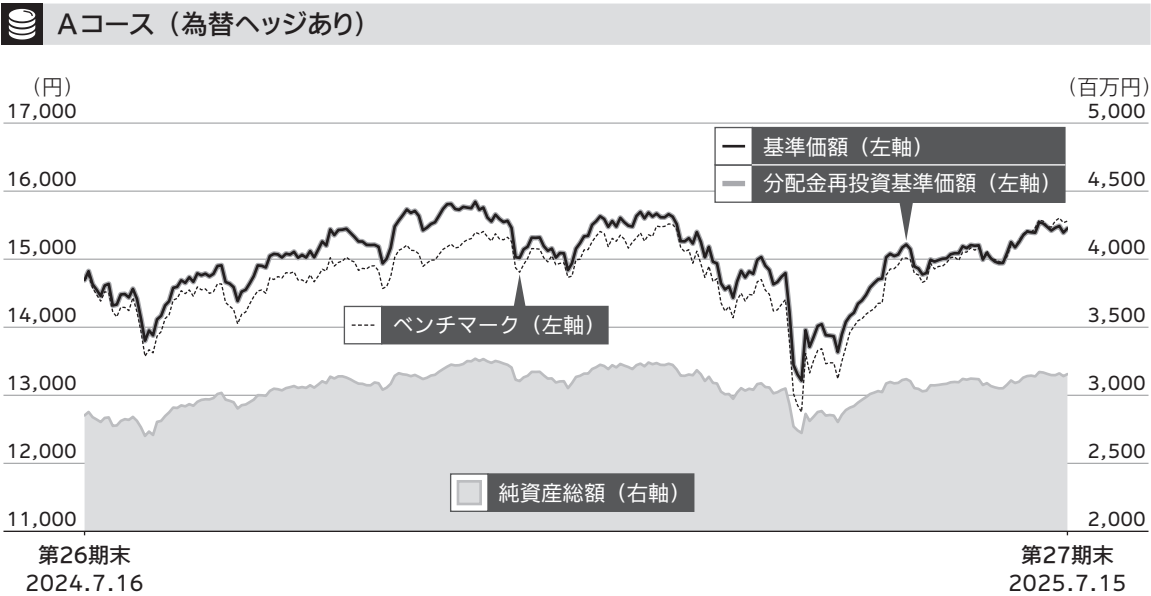
第27期末 2025.7.15

	Aコース (為替ヘッジあり)	Bコース (為替ヘッジなし)
基準価額	15,452円	33,833円
純資産総額	3,155百万円	4,091百万円
騰落率※	5.2%	4.4%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2024年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Aコース（為替ヘッジあり）

主要投資対象である損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は上昇しました。なお、当ファンドは対円で為替ヘッジを行っていたため、為替市場の動きによる影響は限定的となりました。

損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+6.4%となりました。

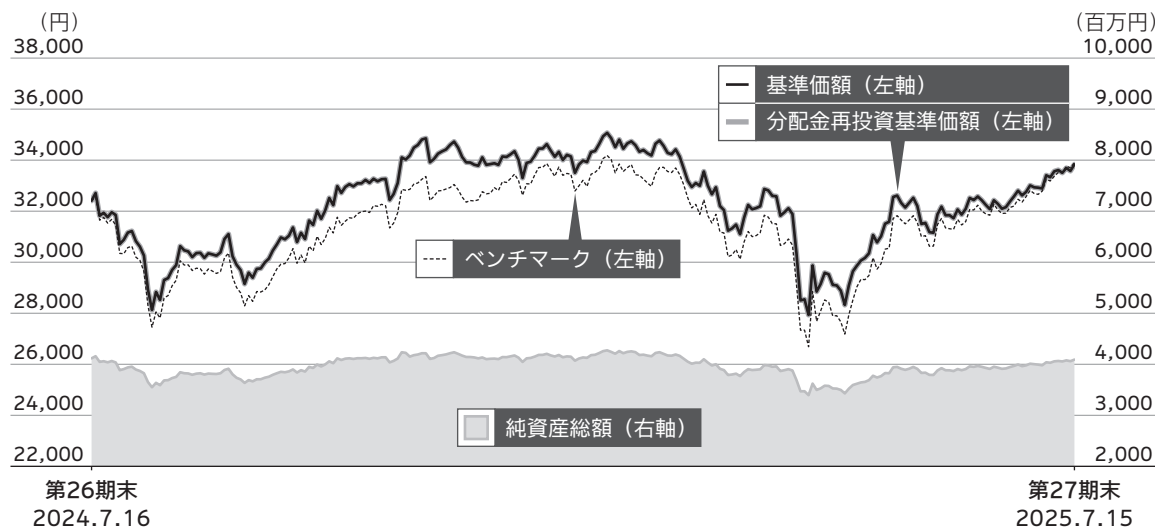
保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。一方で、為替市場において、米ドル、欧州通貨が対円で下落したことはマイナスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

■ Bコース（為替ヘッジなし）



第27期首	騰落率	第27期末
基準価額 32,410円	4.4% (分配金再投資) (基準価額ベース)	基準価額 33,833円 (期中分配金) (合計 0円)

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2024年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Bコース（為替ヘッジなし）

主要投資対象である損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は上昇しました。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+6.4%となりました。

保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。一方で、為替市場において、米ドル、欧州通貨が対円で下落したことはマイナスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

 Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第27期 2024.7.17～2025.7.15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	314円	2.084%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は15,044円です。
（投信会社）	(157)	(1.042)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(140)	(0.932)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価
（受託会社）	(17)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.066	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(9)	(0.059)	
（投資信託証券）	(1)	(0.007)	
(c) 有価証券取引税	3	0.022	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(3)	(0.022)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	11	0.076	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(9)	(0.057)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(1)	(0.009)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(1)	(0.009)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	338	2.248	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

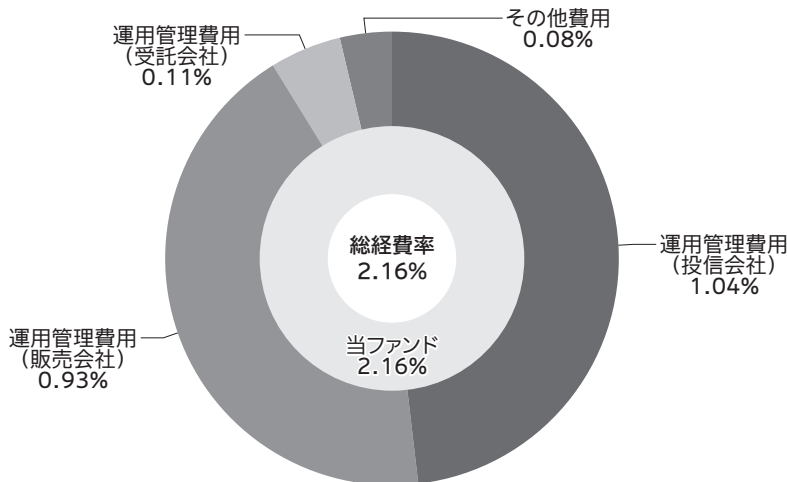
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.16%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第27期 2024.7.17～2025.7.15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	674円	2.084%	$(a) \text{ 信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率（年率）} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は32,336円です。
（投信会社）	(337)	(1.042)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(302)	(0.932)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(35)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	21	0.066	$(b) \text{ 売買委託手数料} = \frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(19)	(0.059)	
（投資信託証券）	(2)	(0.008)	
(c) 有価証券取引税	7	0.022	$(c) \text{ 有価証券取引税} = \frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(7)	(0.022)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	25	0.076	$(d) \text{ その他費用} = \frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(19)	(0.057)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(3)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(3)	(0.009)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	727	2.248	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

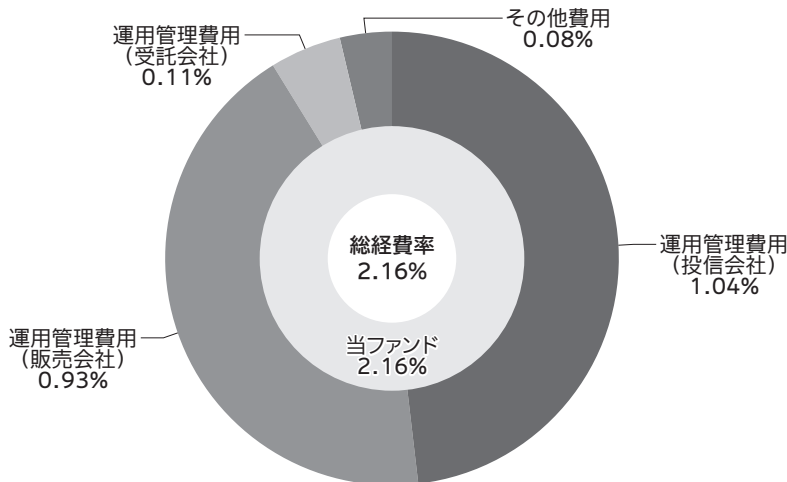
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.16%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2020.7.15～2025.7.15



Aコース（為替ヘッジあり）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2020年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

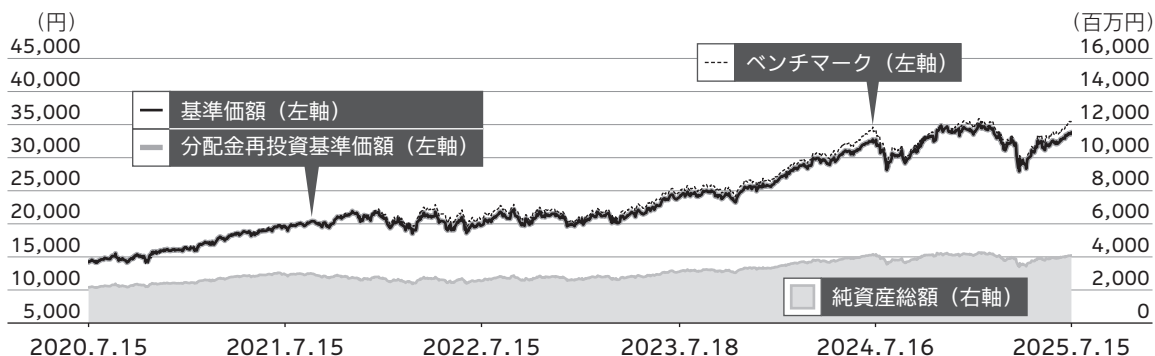
決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日	2024.7.16 決算日	2025.7.15 決算日
基準価額 （円）	10,204	13,554	11,159	12,918	14,694	15,452
期中分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 （%）	—	32.8	△ 17.7	15.8	13.7	5.2
ベンチマーク騰落率 （%）	—	33.4	△ 15.3	12.2	14.3	5.9
純資産総額 （百万円）	1,773	2,435	2,327	2,640	2,851	3,155

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）です。

指数に関する詳細は27ページをご参照ください。

2020.7.15～2025.7.15

Bコース（為替ヘッジなし）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2020年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日	2024.7.16 決算日	2025.7.15 決算日
基準価額 (円)	14,201	19,488	19,753	24,031	32,410	33,833
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	37.2	1.4	21.7	34.9	4.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	39.0	4.7	19.9	37.4	4.6
純資産総額 (百万円)	2,154	2,937	2,548	3,108	4,116	4,091

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）です。

指数に関する詳細は27ページをご参照ください。

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。

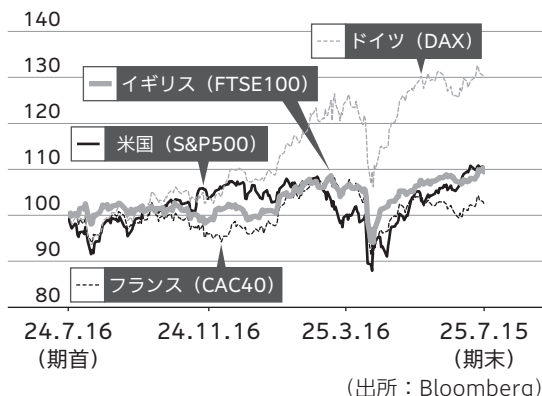
期首から2024年8月初めにかけては、米国の経済指標の軟化による景気後退懸念などを背景に、ハイテク株を中心にリスク回避の動きが広がり、市場は下落しました。12月半ばにかけては、FRB（米連邦準備理事会）による利下げ決定や次期米国大統領選挙で勝利を収めたトランプ氏への期待感の高まりなどから、市場は上昇しました。その後は、インフレ指標の動向などを受けて一進一退の展開が見られたものの、トランプ政権の関税政策発動による世界的な景気悪化懸念が高まり、2025年4月初めにかけて市場は大きく下落しました。期末にかけては、関税交渉の進展期待や中東での暫定的な停戦合意、ハイテク株の上昇などから、市場は上昇しました。

○欧州株式市場

欧州株式市場は上昇しました。

期首から2024年8月初めにかけては、米国の景気後退懸念の高まりによるリスク回避の動きから、市場は下落しました。11月にかけては、欧米での利下げや中国の経済対策発表などが好感された一方で、世界各国の経済指標の軟化や中東情勢不安による景気後退懸念、米国の関税政策への懸念を背景に、市場は一進一退の展開となりました。2025年3月初めにかけては、欧州企業の好決算やECB（欧州中央銀行）の利下げが相場を支えたものの、4月初めに米国で関税政策が発表されると、貿易戦争懸念から、市場は大きく下落しました。期末にかけては、欧州企業の好業績や買

主要株価指数の推移



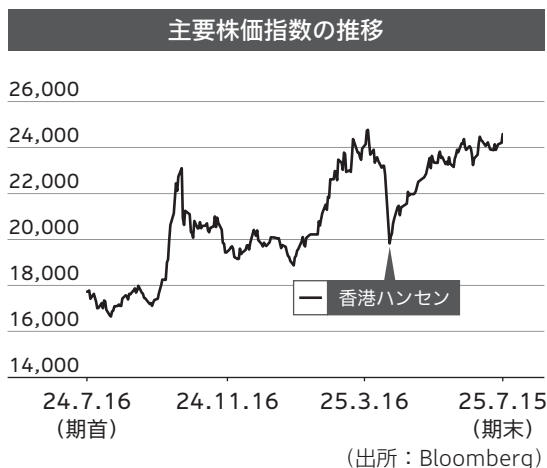
注. 期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

易戦争懸念の緩和、中東での暫定的な停戦合意などから、市場は上昇しました。

○アジア株式市場

アジア株式市場は上昇しました。

期首から2024年9月半ばにかけては、米国株式市場の動向や日銀の利上げ決定、中国の政策期待などを材料に、市場はもみ合う展開となりました。10月初めにかけては、米国での利下げ決定や中国で政策期待が一段と高まったことなどから、市場は上昇しました。2025年1月半ばにかけては、次期トランプ政権での米中対立への懸念などから、市場は軟調に推移しました。3月初めにかけては、中国発のAI（人工知能）モデル「DeepSeek」の効果により、市場は上昇したものの、米国の関税政策による世界経済の先行き不透明感から、4月初めにかけて市場は大きく下落しました。期末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、市場は上昇しました。

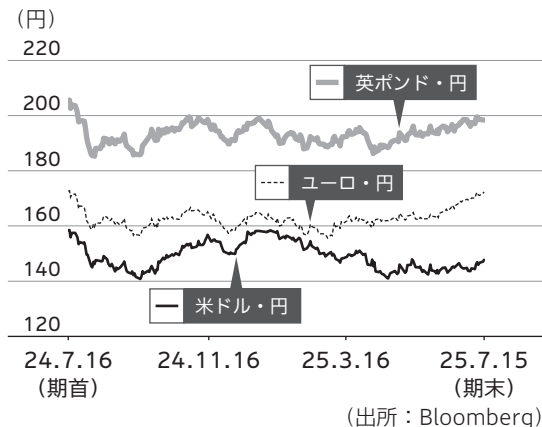


○為替市場

米ドル、欧州通貨は対円で下落しました。

米ドルは、2024年9月半ばにかけては、日米金融政策格差の縮小から、下落しました。11月半ばにかけては、米国の大幅な利下げ観測の後退などから、上昇しました。その後は、一時的にドル高値圏で推移したものの、日銀の追加利上げ決定や米国の景気減速懸念の高まりなどから、2025年4月中旬にかけて大幅に下落しました。期末にかけては、米中貿易摩擦懸念の後退や円売りが優勢となり、上昇しました。欧州通貨は、ドイツの財政拡張方針への転換や米ドルの信認低下への警戒感などから上昇する局面が見られたものの、円買いが優勢となり、下落しました。

為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

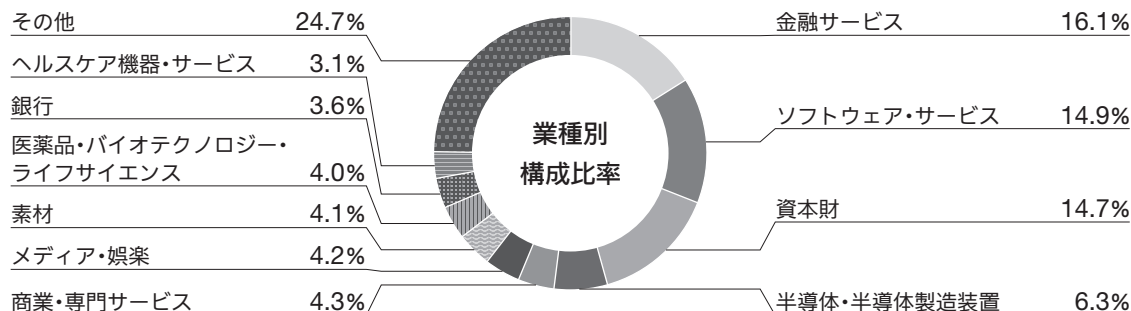
期を通して、損保ジャパン・T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、実質組入外貨建資産については対円で為替ヘッジを行っています。

📊 Bコース（為替ヘッジなし）

期を通して、損保ジャパン・T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

👤 損保ジャパン・T C W外国株式マザーファンド

期を通して、株式の組入比率を高位に維持しました。



注1．比率は、第27期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2．端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

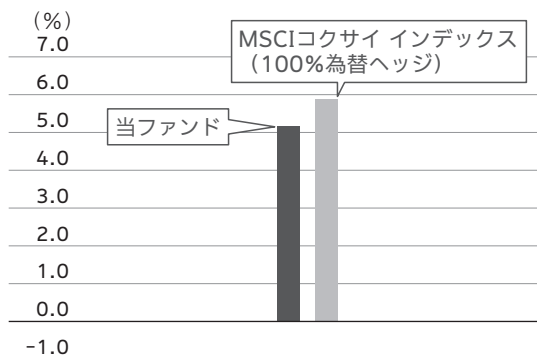
● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の騰落率（5.9%）を0.7%下回りました。

キャッシュの保有などがマイナスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



第27期

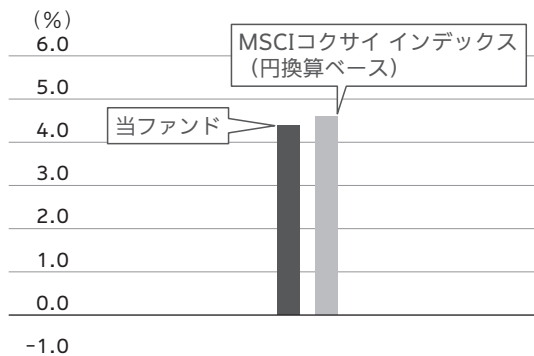
2024.7.17～2025.7.15

Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（4.6％）を0.2％下回りました。

キャッシュの保有などがマイナスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



第27期
2024.7.17~2025.7.15

損保ジャパンTCW外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（4.6％）を1.8％上回りました。

主に、米国における個別銘柄選択がプラスに寄与しました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。



Aコース（為替ヘッジあり）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第27期 2024.7.17～2025.7.15
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,406

- 注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- 注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- 注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



Bコース（為替ヘッジなし）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第27期 2024.7.17～2025.7.15
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	27,693

- 注1．「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- 注2．円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- 注3．当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

Aコース（為替ヘッジあり）

引き続き、損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に分散投資することでリスクを軽減しつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。なお、原則として実質組入外貨建資産については対円で為替ヘッジを行います。

Bコース（為替ヘッジなし）

引き続き、損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に分散投資することでリスクを軽減しつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。なお、原則として実質組入外貨建資産については対円で為替ヘッジを行いません。

損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド

引き続き、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力している複数のストラテジーの投資比率を適宜調整し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けうるポートフォリオの構築に努めます。

● お知らせ

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。

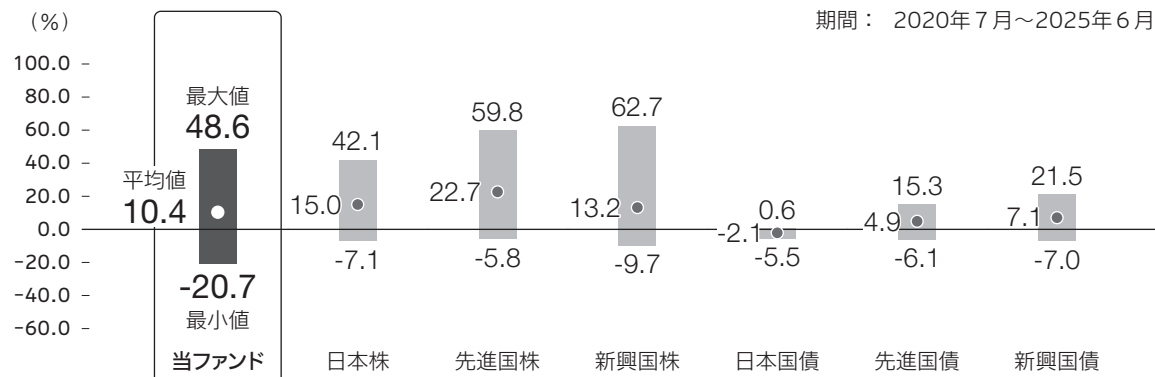
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。
主要投資対象	 損保ジャパン－TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし） 「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券  損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド 日本を除く世界各国の株式
運用方法	① 日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とします。 ② 「Aコース（為替ヘッジあり）」 MSCIコクサイ インデックス（100％為替ヘッジ）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。 「Bコース（為替ヘッジなし）」 MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。 ③ 各ファンドのマザーファンドである「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」の運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用の指図に係る権限を、米国のTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

📊 Aコース（為替ヘッジあり）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

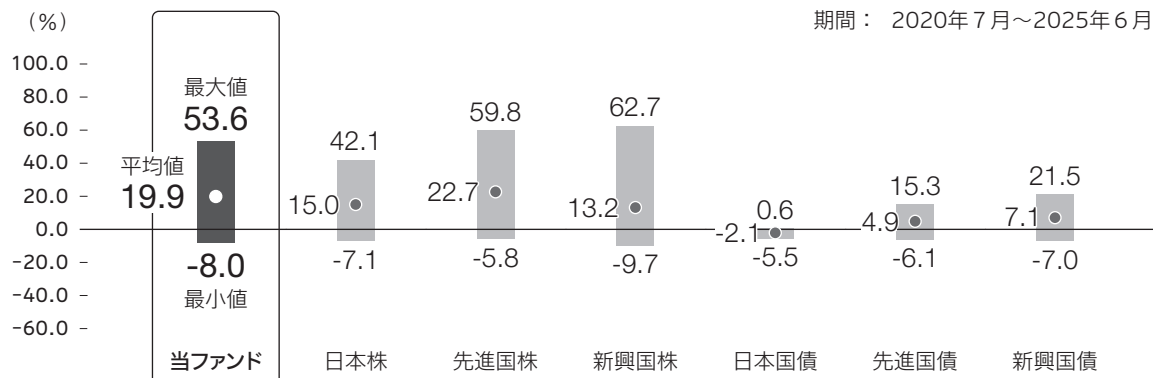
日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は27～28ページをご参照ください。

Bコース（為替ヘッジなし）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は27～28ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ



Aコース（為替ヘッジあり）

● 当該投資信託の組入資産の内容

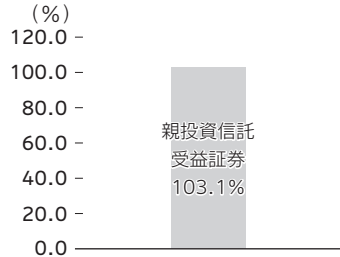
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

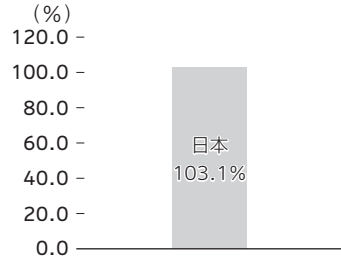
	第27期末 2025.7.15
損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド	103.1%

注. 比率は第27期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

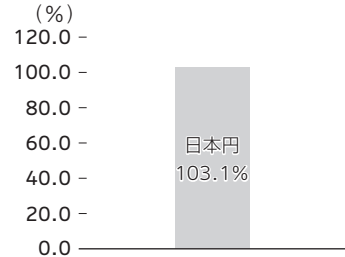
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第27期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第27期末 2025.7.15
純資産総額	3,155,327,737円
受益権総口数	2,042,082,831口
1万口当たり基準価額	15,452円

※ 当期中における追加設定元本額は473,810,807円、同解約元本額は372,594,222円です。

Bコース（為替ヘッジなし）

● 当該投資信託の組入資産の内容

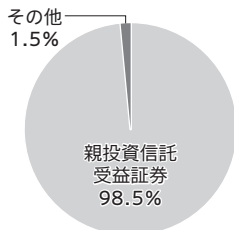
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第27期末 2025.7.15
損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド	98.5%

注．比率は第27期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第27期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第27期末 2025.7.15
純資産総額	4,091,097,269円
受益権総口数	1,209,195,850口
1 万口当たり基準価額	33,833円

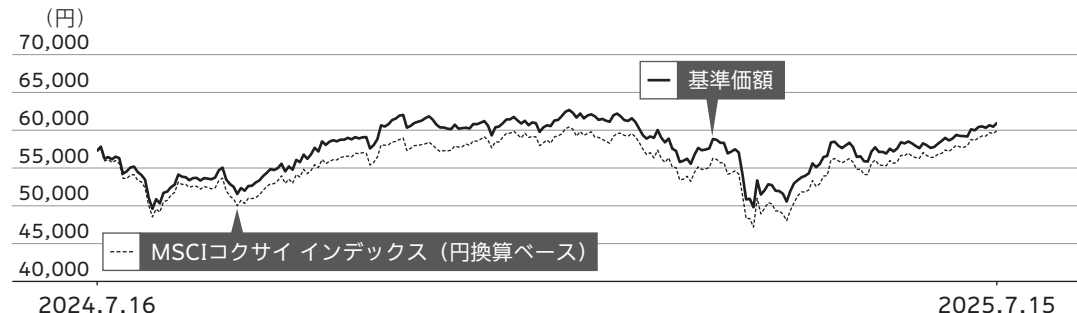
※ 当期中における追加設定元本額は161,089,557円、同解約元本額は221,999,154円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパンーT C W外国株式マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2024年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

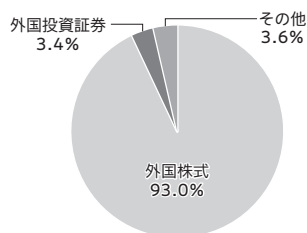
項目	2024.7.17～2025.7.15	
	金額	比率
売買委託手数料	40円	0.069%
（株式）	(35)	(0.061)
（投資信託証券）	(4)	(0.008)
有価証券取引税	13	0.023
（株式）	(13)	(0.023)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	39	0.068
（保管費用）	(34)	(0.059)
（その他）	(5)	(0.009)
合計	92	0.160

期中の平均基準価額は57,652円です。

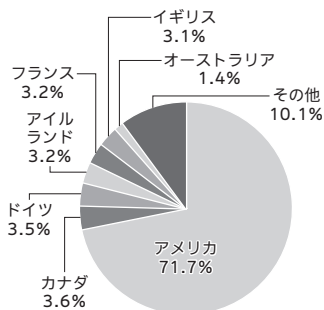
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	4.3%
2 HEICO CORP	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	3.5%
3 FISERV INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.9%
4 WASTE CONNECTIONS INC	商業・専門サービス	アメリカ・ドル	カナダ	2.9%
5 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%
6 GE AEROSPACE	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	2.5%
7 TRANSDIGM GROUP INC	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%
8 S&P GLOBAL INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.1%
9 VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.1%
10 MASTERCARD INC-CLASS A	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%
組入銘柄数		270銘柄		

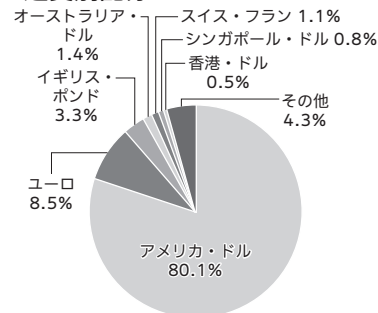
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2025年7月15日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークである「MSCIコクサイ インデックス」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）およびMSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）は、MSCIコクサイ インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。

同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

損保ジャパン・TCW外国株式ファンド コース

検索

それぞれのコースをご入力下さい。

Aコース（為替ヘッジあり）

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0874/price.html>



Bコース（為替ヘッジなし）

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0875/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日
（申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。